

科目名称:	コンピュータ表現演習 I	
担当者名:	和田 紘樹	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
グラフィックソフトの習熟は、デザイン・制作系就職を希望する学生にとっては必須項目となっている。本演習ではIllustratorという代表的なグラフィックアプリケーションの基本を学び、これからはじまる専門科目実習に役立てて欲しい。演習内では初級～中級者を想定した内容ですすめる。使い方は反復練習で覚えるだけであるので、やや難しく感じる学生は時間外での復習をしっかりと行うこと。		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・Illustratorの基本ツールの操作ができる。 ・基本的なCG用語を理解できる。 ・作成練習した作例を再現できる。 		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)					0
全学DP(2)					0
全学DP(3)	70		15	15	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
コンピューターの理解	コンピューターの使い方を十分に理解し、応用することができる	コンピューターの使い方を十分に理解している	コンピュータの基本的な使い方ができる	コンピューターの使い方を十分にできていない
機能やツールの理解	ソフトウェアの機能やツールを十分に理解し、応用することができる。	ソフトウェアの機能やツールを十分に理解している	ソフトウェアの基本的な機能やツールを理解している	ソフトウェアの機能やツールを十分に理解できていない
ペンツールの理解	ペンツールの使い方を十分に理解し、とても丁寧に作業することができる	ペンツールの使い方を理解し、丁寧に作業することができる	ペンツールの使い方を理解し、作業することができる	ペンツールの使い方を十分に理解できていない
課題提出	授業内で課された課題について十分に理解し、しっかりと提出している	授業内で課された課題について理解し、提出している	授業内で課された課題についてある程度理解し、提出している	授業内で課された課題について十分に理解できていない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 Illustrator① Illustratorのツールや機能の解説	このシラバスを精読しておく	15分
第2回 Illustrator② 基本図形で絵を描こう	図形ツールを理解しておく	30分
第3回 Illustrator③ 線の設定、線で遊ぶ	前回の復習、線機能をしておく	30分
第4回 Illustrator④ 塗りの設定、塗りで遊ぶ	前回の復習、塗り機能を理解しておく	30分
第5回 Illustrator⑤ グループ化とレイヤー機能について	前回の復習、線、塗り機能を理解しておく	30分
第6回 Illustrator⑥ パスファインダについて	前回の復習、線、塗り機能を理解しておく	30分
第7回 Illustrator⑦ ペンツール その1	各ツールの使い方を復習しておく	30分
第8回 Illustrator⑧ ペンツール その2	ペンツールの練習しておく	30分
第9回 Illustrator⑩ キャラクターを描く①（ペンツール）	ペンツールの練習しておく	30分
第10回 Illustrator⑩ キャラクターを描く②（ペンツール）	キャラクターのアイデアを出しておく	30分
第11回 Illustrator⑪ 地図の作成	各ツールの使い方を復習しておく	40分
第12回 Illustrator⑫ カレンダーの作成	各ツールの使い方を復習する	30分
第13回 Illustrator⑬ ポスターの作成	各ツールの使い方を復習する	30分
第14回 Illustratorまとめ 小テスト	各ツールの使い方を復習する	30分
第15回 総復習 模擬テスト	今まで配布した資料の精読をする	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
 （授業への積極的関与・貢献） 15% 私語や取り組みが著しく悪い場合、マイナス評価とする。
 （小テスト） 15% 用語やツール単体の使い方についての行う。

課題に対してのフィードバック

授業毎に出される課題をチェックしてフィードバックし、修正し復習させる。

教科書・参考書

教科書 授業ごとにプリントを配布